

## 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

研究分担者 大村 浩一郎 神戸市立医療センター中央市民病院 膠原病・リウマチ内科 部長

### 研究要旨

生活習慣病・ロコモティブシンドロームに対する温泉療法の有効性をシステマティックレビューで検証し、運動療法を組み合わせたエビデンスに基づく標準温泉療法プログラムを構築する。電子化した「温泉療養指示書」を連動させた多施設前向き観察研究により QOL 変化を評価し、DPC を基盤とする診療情報データベース解析から薬物療法のみでは管理不良な患者を抽出して温泉療法の適応患者像を定量的に規定する。得られた知見から標準プログラム、療法医向け指導書、一般向け啓発資料を作成し、温泉療法の適正利用と地域包括ケアにおける健康増進・医療費抑制への貢献を目指す。この研究の中で変形性関節症および痛風・高尿酸血症の担当として論文収集、解析を行い、温泉療法の標準プログラムを作成中である

### A. 研究目的

温泉療法による健康増進効果について、変形性関節症、痛風・高尿酸血症に関して、最新のシステマティックレビューと前向き臨床研究・ビッグデータ解析を統合して「日本発のエビデンス」を体系化する。

### B. 研究方法

変形性関節症、痛風・高尿酸血症の温泉療法に関するランダム化比較試験 (RCT) のエビデンスを様々なデータベース (MEDLINE, EMBASE, CENTRAL, Web of Science, 医中誌) から収集。論文タイトルとアブストラクトより一次スクリーニングを行い、さらに取り寄せした論文をもと二次スクリーニングを行った。

(倫理面への配慮)

研究に対し書面による同意取得後に温泉療法指示書電子化・匿名化データ収集システム構築し、「温泉療法と生活の質に関する検討ー前向き観察研究ー」は臨床倫理審査承認後、症例登録終了済みである。

### C. 研究結果

#### 1. システマティックレビューの成果

変形性関節症の温泉療法に関連する論文 485 論文の中からタイトルとアブストラクトによる一次スクリーニングを行い、128 論文を取り寄せし、二次スクリーニングを行い水道水を用いた aquatic exercise などを除き 48 論文を採用した。現在、部位別、温泉の質別などで分類して解析中である。

一方、痛風・高尿酸血症の温泉療法 RCT 論文 22 論文の中で二次スクリーニングに入るものはなかったため、記述的にまとめている。

### D. 考察

変形性関節症の温泉療法に関する RCT 論文は 48 論文あるが、その泉質や温泉療法の時間や期間、アウトカムに統一性がなく、記述的な総説にならざるを得ない。できる限りの類型化を行い、変形性関節症に対する温泉療法のエビデンスとしてまとめたい。

痛風・高尿酸血症に関しては RCT はないため、RCT 以外の論文や動物実験論文を検索するなどエビデンスを構築する。

### E. 結論

変形性関節症および痛風・高尿酸血症に関する温泉療法のエビデンスを収集した。記述的な総説としてまとめている。

### F. 健康危険情報

なし

### G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得  
なし

- 2. 実用新案登録  
なし
- 3. その他  
なし